



第 507 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0
定価 1部 60円

第 1 回 危険物取扱者試験

6月9日・16日 府大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成8年度第1回危険物取扱者試験を6月9日と16日に大阪府立大学において、次のとおり実施する予定である。

なお、今回より受験願書の様式が変更となり、全国一律の型式となる予定。

第 1 回危険物取扱者試験

試験日	・ 6月9日 甲種・4類以外の乙種 (午後) 丙種 (午前・午後) ・ 6月16日 乙種4類 (午前・午後)
試験会場	大阪府立大学 (堺市)
願書受付日	5月16日、17日
願書受付場所	大阪府職員会館

予備講習会は甲種、乙種4類、丙種について
泉大津・門真など府下11会場で

予備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、堺、泉大津、茨木、門真など府下11会場で別掲 (8頁参照) のとおり実施する。

土曜コース・日曜コース予約開始

土曜コース (定員140名)、日曜コース (定員180名) については電話予約による受付を行っている。受講希望者は、電話 (06-531-9717) で5月2日 (ただし、満席になり次第締切り) までに予約されたい。

なお、この時期の土、日コースは希望者が相当多く、4月中旬には満席が予想されるので、希望者は早期に電話予約されたい。

2月の試験結果

甲種52.6%、乙4 41.9%

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成7年度第4回危険物取扱者試験を2月11日、大阪府立大学において実施したが、その結果が3月12日に発表された。

試験区分別合格率は次のとおりである。

平成7年度第4回 危険物取扱者試験結果

区 分	受験者数	合格者数	合格率 (%)
甲 種	397人	209人	52.6
乙種1類	86人	74人	86.0
乙種2類	99人	75人	75.8
乙種3類	67人	50人	87.7
乙種4類	2,855人	1,197人	41.9
乙種5類	85人	72人	84.7
乙種6類	114人	80人	70.2
丙 種	686人	366人	53.4

平成7年度保安講習終了

平成8年度は6月下旬から

平成7年度危険物取扱者保安講習は、2月16日の大阪会場を最後に延62会場を終了した。

受講申請者は10,790名で、うち欠席者191名、実受講者10,599名であった。

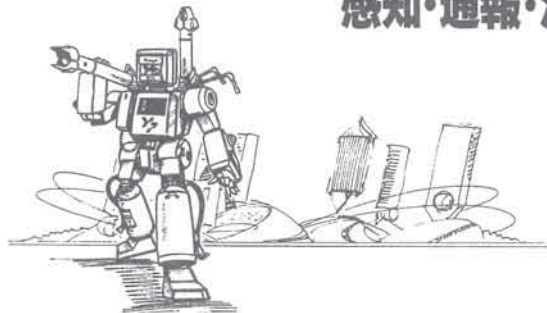
平成8年度の保安講習については、6月下旬から平成9年2月にかけて府下60数会場で、石油コンビナート、化学工場、給油取扱所、タンクローリー及び一般の部の5部門に分けて実施する計画で日程については5月中旬頃発表の予定である。

平成8年度 危険物取扱者保安講習・予備講習 年間予定表 (5月～9月)

	保安講習	予備講習	試験日・願書受付
5月		甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (3会場) 堺 (1会場) 泉大津 (1会場) 茨木 (1会場) 門真 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場)	5月16日 5月17日 (願書受付)
6月	大阪 (4会場 うち化学2) 吹田 (1会場)	丙種 大阪 (1会場)	6月9日 (乙4) 6月16日 (乙4以外) (試験・府大)
7月	大阪 (10会場 うち化学1・給油4) 堺 (3会場 うち給油1) 泉大津 (1会場) 貝塚 (1会場) 岸和田 (1会場:給油所関係)		
9月	大阪 (2会場:タンクローリー関係) 豊中 (1会場) 和泉 (1会場) 藤井寺 (1会場)	甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (3会場) 堺 (1会場) 大東 (1会場) 高槻 (1会場) 枚方 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場) 丙種 大阪 (1会場)	9月17日 9月18日 (願書受付)



防火設備は、ままままな防火機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー・ヤマトロテックは、感じる・知らせる・消す、3要素を、安全確保の「ハイス」して、
「アトミック」の研究・開発を、こころから、
完成させています。
*
防火による快適環境づくりの
「アトミック」は、セイフティ & アメニティ。



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・アトミック・

ヤマトスロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒100 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

大阪府吹田区 吹田駅前 吹田駅前ビル 吹田駅前ビル 吹田駅前ビル

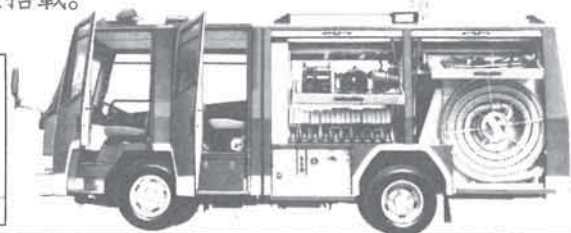
平成 8 年度 危険物取扱者保安講習、予備講習 年間予定表 (10月～2月)

	保 安 講 習	予 備 講 習	試 験 日 ・ 願 書 受 付
10月	大阪 (6会場 うちコンビナート2 給油1) 堺 (2会場:タンクローリー関係) 高槻 (2会場) 茨木 (2会場 うち給油1) 枚方 (2会場) 門真 (1会場) 大東 (1会場)、八尾 (1会場)		10月13日 (試験・近大)
11月	大阪 (2会場) 吹田 (1会場)	甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (2会場) 堺 (1会場) 泉佐野 (1会場) 茨木 (1会場) 河内長野 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場) 丙種 大阪 (1会場)	11月14日 11月15日 (願書受付)
12月	大阪 (2会場)		12月 8 日 (試験・府大)
1 月		甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (2会場) 堺 (1会場) 吹田 (1会場) 日曜・大阪 (1会場)	1 月 20 日 1 月 21 日 (願書受付)
2 月	大阪 (5会場 うち化学1) 堺 (1会場) 茨木 (1会場)、東大阪 (1会場)		2 月 9 日 (試験・府大)

普通消防ポンプ車
MX-1

消防そして救助。災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフ&ワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー
- 吸管、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納



MORITA
森田ポンプ株式会社

本社 / 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL (06) 756-0110 FAX (06) 754-3481
東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・富山・松山

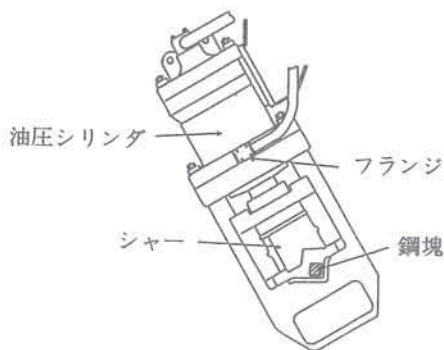
危険物施設の事故例

■ 鋼塊切断機の油圧装置から 作動油が噴出、火災へ

東京都内の製鋼工場（一般取扱所）において、鋼塊切断機より作動油が噴出し、火災となった。

事故の概要

鋼材を製造する作業所において、連続鋳造工程の4機ある鋼塊切断機のうち1機から火災があがっているのを巡回中の作業員が発見し、監視室にいた他の作業員とともに消火器を用いて消火にあたったが消火することができなかった。油圧装置から作動油が噴出し、火災になっているので、最初、1号機の電源を遮断し、装置を停止したが火災はお



鋼塊切断機の構造

さまらなかつたため、4機全部の電源を遮断したところ、作動油の噴出が止まり、鎮火した。

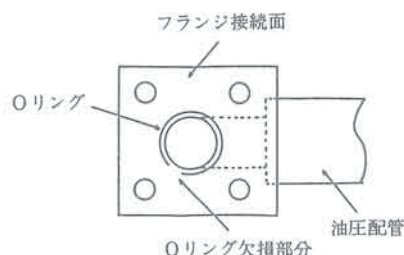
実際には、火災は2号機で発生していたため、1号機の電源を遮断しても作動油の噴出は止まらず、全体の電源を遮断したところ、2号機の油圧ポンプが停止し、油圧が低下し、作動油の噴出が止まり、鎮火した。

事故の原因

鋼塊切断機（2号機）の刃を持ち上げる油圧装置のフランジ部分のパッキング（Oリング）が、破断して、シールが破れ、作動油（第四類第四石油類（鉱物油）、引火点250℃前後、圧力40～50kgf/cm²）が霧状になって噴出し、焼けた鋼塊により着火し、火災にいたったもの。

問題点及び対策

- ① 毎日始業点検や不定期の巡回は、実施しているが、当該部分は、装置の形態や環境（高温）から作業中の作業員による点検は不可能であるため、2年前に装置を更新して以来、点検は行われていなかったこと。
- ② 当該装置部分には、粉塵が多量に堆積し、目視による点検もできない状態であったこと。
- ③ 装置メーカー等による定期点検も行われていなかったこと。
- ④ 作業員による分解点検等は、不可能であることから、



同フランジ部分

目視点検で異常な早期発見できるように堆積した粉塵等をできるかぎり除去し、目視点検可能な状態を維持すること。

- ⑤ 1年に1回程度は、装置メーカー等による定期的な点検を実施すること。

（財）全国危険物安全協会 提供

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

我が社の保安対策

危険物災害防止

日常の心がまえ

〈泉大津市〉 三菱石油(株)大阪油槽所

当油槽所は、大阪府下南部の発展に眼を向け、1972年(昭和47年)、4月から泉大津市臨海町(泉北四区)に石油製品の出荷基地として操業開始いたしました。燃料油については、海上よりタンカー船にて受入し、出荷はタンクローリーやトラックにて大阪府下、大和川以南、奈良、和歌山、京都、滋賀、三重の一部を配送区域として、安全第一をモットーに、石油製品を顧客に届ける役割をはたしております。去る平成7年6月16日には、大阪府知事より、大阪府危険物安全月間にあたって、危険物災害防止優良事業所として認められ、感謝状をいただきました。これも偏に所轄泉大津消防本部をはじめ、関係行政の皆様の日頃からの御指導のおかげと、ここに紙面をお借りして心から厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、当油槽所の保安管理について、ご紹介します。



同社自衛消防隊、三点セット(高所放水車及び化学車)による訓練風景

(1) 自主安全活動の推進

毎年、本社保安環境委員会で、一年間の保安管理基本方針が作成され、全国の当社油槽所に送付されてきます。その基本方針に沿って各油槽所では、自主安全活動推進年次計画表を、安全衛生推進者が主体となって作成し、本社に提出する事になっております。そこで当油槽所では、月間推進項目、特に重点項目を上げ、安全衛生推進者が実行してゆくことにしています。そして、毎月の重点項目を記載した看板を、事務所玄関正面に掲出し、構内で作業する者

や、乗務員、他出入りするすべての人が、一日に何回も目につくようにして、注意を喚起しております。

(2) 安全会議等について

2ヶ月に一回の割合で、所内合同安全会議を開催し、危険物取扱いや、構内作業の注意事項、設備の維持管理等についての意見交換を実施しております。又危険物災害事故の研修用ビデオを見る機会を与えて、視聴覚教育を行っております。更に、危険予知運動(KYT)として、構内作業担当者が、リーダーを順番にきめ、作業状況のイラストを作り、一人一人が危険予知を身につくよう、トレーニングをしております。

(3) 構内作業について

ローリー積込作業、トラック積込作業が作業基準にしたがって行われているか、随時、管理職が構内を巡回し、点検すると共に、3月にはより効果的に作業状況を把握するため、構内の4ヶ所に監視カメラを設置いたします。

(4) 静電気発生防止について

当油槽所の主たる業務は、タンクローリーの充填出荷であるため、静電気による火災、爆発事故防止が最も重要と考えており、第一石油類(ガソリン)配送終了後、第二石油類(灯油、軽油)を充填する前には必ずローリーハッチ内のガスを、ガス抜きブローアを運転して、確実に抜き取る作業を実施する事を厳守しており、ガス抜きをしなければならない重要性を認識させております。ローリー積場には湿度計(温度計)を設置し、毎日、湿度が40%以下になった時には、床面の散水設備を動作させ、静電気発生防止につとめております。参考まで、

92年12月~93年3月迄の間、湿度が40%を切った日が月平均で16日ありました。

白油ローリー乗務員はすべて静電防止作業服、静電安全靴の着用を義務づけており、随時正しく着用されているかも点検を実施しています。

LIFE LINE STATION

緊急用飲料水・電気・ガス供給機



防災ライフラインステーション

いざというとき

● 飲料水

● 電気

● 熱源

の確保ができます。

矢ヶ崎機工株式会社 ☎06-657-3791

(5) 協力会社の安全会議について

協力会社、二社の安全会議には、管理職をはじめ、防災担当が出席し、構内設備の改善等、皆で意見を出しあい、より安全なる設備改善を行っております。又働きやすい、明るい職場環境を作りあげるため、朝夕の挨拶は必ず実行するように心がけています。

(6) 自衛防災車両(三点セット)の操作教育について

当油槽所は、石油コンビナート等災害防止法に基づく第一種事業所に指定されている関係で、防災三点セットを備え付けており、防災隊長以下、災害に備え実践訓練を防災規程に基づき実施しております。又昨年(1996年)の1月に起きた阪神淡路大震災を教訓として、防災隊員以外の日勤部門の事務員及び構内作業の新入社員並びに未経験者を対象とした、防災訓練を2月からスタートし、まず第一に大型化学車の各部の名称、取り扱い等、防災隊長を教官として、業務終了後に、二班に分けて特別訓練を実施中であり、日中夜間、休日を問わずいつ起きるか分からない災害に備え、発災の時にはあわてず、防災活動が出来るように、たゆまぬ努力をいたしております。今回からの教育は、何にでも使える大型化学車からスタートし、高所放水車、泡原液搬送車の順に、教育訓練をやってゆく事とし、全員が技能を取得するには約3ヶ月必要と考え、励んでいます。常日頃から万一の災害に備えた心意気が一番大切だと考えてます。

(7) その他

毎年一回行われる、堺・泉北臨海特別防災地区協議会の総合防災訓練には、泉大津市から当油槽所の自衛防災隊員二名と、泡原液搬送車を参加させていただいており、隊員にとっては身の引き締る思いで操作訓練を実施しています。このような大きな訓練に参加してこそ、防災意識の高揚におおいに役立っていることを確信します。

毎年、年頭に実施される泉大津市消防本部の出初式典にも三点セットを参加させていただいており、防災隊員一同あらためて火災予防について、一層の努力が必要と痛感いたしました。

おわりに

防災隊の合言葉は、〈毎日少しでも訓練しよう〉。と申し合わせて訓練していることです。他企業に優るとも劣らないよう、精励してゆきたいと思っております。しかしながら、我が自衛防災隊が出動するような事態が当所では絶対に起こさぬよう、日々の安全作業、安全点検の励行に一層の努力することを心掛けて、今日も全員頑張っています。

以上

危険物規制の動き

「保有空地内の植栽に係る運用について」

製造所等の保有空地内に緑化対策を構想することは是非が問われていたが、消防庁では、平成8年2月13日付、消防危第27号通達で下記のとおり規制緩和を行なった。

記

1 保有空地内に植栽できる植物

保有空地内に植栽する植物は、延焼の媒体とならず、かつ、消防活動上支障とならない矮性の草本類及び高さが概ね50センチメートル以下の樹木であること。また、延焼防止上有効な葉に多くの水分を含み、かつ、冬季においてもその効果が期待できる常緑の植物(草本類については、植替え等を適切に行い絶えず延焼媒体とならない管理を行う場合にあっては、常緑以外のものとする事ができる。)であること。なお、防油堤内の植栽は矮性の常緑草に限るものであること。

2 保有空地内の植栽範囲

植栽する範囲は、次の各条件を満足するものであること。

- (1) 貯蔵、取扱い等の作業の障害とならない範囲であること
- (2) 消防隊の進入、消火活動等に必要空間が確保されること
- (3) 消防水利からの取水等の障害とならないこと
- (4) 防災用の標識等の視覚障害とならないこと
- (5) 危険物施設の維持管理上支障とならないこと
- (6) その他、事業所等の形態等を考慮し火災予防上、延焼防止上及び消防活動上支障とならないこと

3 維持管理

植栽した植物が、枯れて延焼媒体とならないよう、また、成長により上記2の条件を満足しないこととならないよう適正な維持管理が行われるものであること。また、常緑の植物であっても落葉するものであることから、常に延焼媒体となる落ち葉等の除去が行われるとともに、植替えを必要とする草本類等はこれが適切に実施されるものであること。

4 その他

事業所の形態の変更等により状況が大幅に変更される場合等にあっては、随時確認を行うこと。

参考 延焼防止上有効な植物の例

草木の区分	植 物 名
樹 木	マサキ、ジンチョウゲ、ナワシログミ、マルバシヤリンバイ、チャ、マンリョウ、アオキ、サツキ、ヒサカキ、トベラ、イヌツゲ、クチナシ、キャラボク、トキワサンザシ、ヒイラギナンテン、ツツジ類、ヤブコウジ等
草本類 (矮性に 限る)	常 緑 草 常緑の芝(ケンタッキーブルーグラスフリーダム等)、ペチュニア、(ホワイチ)クローバー、アオイゴケ等 非常緑草 芝、レンゲ草等

(注) 樹木は、高さが概ね50センチメートル以下に維持管理できるものに限る。

第16回 大阪府下論文募集 (締切 平成8年4月8日まで)
危険物安全管理事故対策・体験等について

第16回表記懸賞論文を下記のとおり募集しますのでご応募下さい。

応募資格 府下事業所に勤務する者

募集部門と内容
 第1部 (製造、取扱い部門) 化学工場等の危険物製造、取扱い部門における防災管理、企業内協同研究、事故体験記録等について
 第2部 (貯蔵、流通、販売部門) 油槽所、営業危険物倉庫の大量貯蔵部門、タンクローリー等輸送部門、又はガソリンスタンド等の販売部門における安全管理、事故防止対策、事故体験記録等について
 第3部 (その他) 一般事業所等における危険物の安全管理、事故体験記録等について
 ※各部とも400字詰原稿用紙 (横書き) 10~15枚程度

送り先 〒550 大阪市西区新町1-5-7 四つ橋ビル8F
 財大阪府危険物安全協会 論文係宛 電話 06(531)9717

切 平成8年4月8日 (当協会必着)

発表 平成8年5月中旬

表彰
 ☆優秀賞 1編 (賞状と副賞10万円)
 各部門の優良作品の中より選出し、6月に行なわれる大阪府危険物安全大会で表彰します。なお、該当者は部門優良賞の副賞と重複はしません。
 ☆優良賞 各部門ごと1編 (賞状と副賞3万円)
 ☆佳作 各部門ごと若干 (賞状と副賞2万円)

なお、優秀賞、優良賞に該当作品が無い場合は、各部門の優良賞、佳作入選を増やすことがあります。
 (その他応募者には記念品を贈呈いたします。)

その他 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

H&H

HATSUTA

株式会社 初田製作所
大阪本社 〒572 大東市野田町南1丁目2-5 TEL: 020-56-12616
 東京支社 〒110 東京都台東区大塚7丁目1-7 TEL: 03-3509-0811

黒点はロス・フリップ・ペンションです。



HATSUTAはあらゆるセーフティケースにおこなえる企業をめざします

頑固な夢がある。
 その先にある。

危険物取扱者予備講習のご案内

平成8年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	5月21日(火)、5月22日(水)、5月27日(月)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期	5月21日(火)、5月22日(水)	大阪府商工会館
	2期	5月23日(木)、5月24日(金)	大阪府商工会館
	3期	5月28日(火)、5月29日(水)	大阪府商工会館
	4期	5月23日(木)、5月24日(金)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	5期	5月30日(木)、5月31日(金)	泉大津市民会館 (南海本線泉大津駅ヨリ約10分)
	6期	5月29日(水)、5月30日(木)	茨木市商工会議所 (茨木駅ヨリ約13分)
	7期	5月27日(月)、5月28日(火)	守口門真商工会館 (京阪門真市駅ヨリ8分)
	土曜コース	5月18日(土)、5月25日(土)	9時10分～16時
日曜コース	5月19日(日)、5月26日(日)、6月2日(日)	10時～16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ約5分)
丙種	6月4日(火)	9時～16時	大阪府商工会館

(注)甲種と乙種日曜コースは3日間で、乙種と土曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受け付けできませんからご了承下さい。
- ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時	
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	5月9日(木) 午後1:30～4:00
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	5月10日(金) 午前10:00～11:30
泉大津市消防本部内	泉大津市火災予防協会	5月10日(金) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	5月13日(月) 午前10:00～午後4:00 5月14日(火)
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	5月15日(水) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会	5月15日(水) 午後1:30～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会	5月16日(木) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口消防署	5月16日(木) 午後1:30～4:00

(注)12:00～12:45までは昼食休みとさせていただきます。

3. 土曜・日曜コースの申込方法

土曜コース(定員140名)、日曜コース(定員180名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

会費には、各テキスト代を含みます。(テキストは平成8年度用改訂版を使用)

種別	会費	会員外
甲種	16,000円	18,000円
乙種4類	12,000円	14,000円
乙種(土曜コース)	13,000円	15,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円
丙種	6,000円	7,000円